

千代田界隈のレトロな風景



建築工事が始まりました。まずは基礎から。

(2023/9/4 千代田7丁目)

みどりの風



2023.10.1
-NO.301-

人・ひと日記

小林 功

宮崎駿監督の新作アニメ「君たちはどう生きるか」が全国で上映中。タイトルと同名の少年少女向けの小説が我が家の本棚にありました。何年前には漫画本でも刊行され話題になりました。ほこりだらけの原作本を取り出して読んでみました。主人公はコペル君という中学生の男の子。聡明で多感な子で人が生きていく上でのいろいろな疑問や悩みにぶつかります。「宇宙の中の人間の存在とつながり」「貧富の差が差別やいじめの理由になっている。自分ならどう行動するか」「友人が先輩にぼこぼこにされている。怖くて助けられなかった自分。友達を裏切ってしまった後悔」「自分が消費するばかりで何も世の中に送り出していない。自分が出来ることはなんだろうか」……コペル少年が考え悩み、どういった人間として生きたいか、思い至るまでを描いた物語。小説の原作は吉岡源三郎、初版は1937年。この年は日中戦争が始まった年。第二次世界大戦へなだれ込む時代。世は軍国教育一色であった時代にこの小説が書かれ、出版までこぎつけた努力は並々ならぬものであったと推測されます。映画は小説とは全く違う内容のようですが、原作が伝えたいことを宮崎監督はしっかり引き継いでいるものと思います。

いつかこの映画をみることを楽しみにしたいと思います。この夏の一冊でした。

小椋佳さんのコンサートが市民会館でありました。「歌紡ぎの会」サブタイトルは「余生のおまけに歌と語りで人生を顧みるひととき」。六十歳台から八十歳台と見られるお客さんでホールは超満員。『しおさいの歌・俺たちの旅・シクラメンのかほり・めまい・揺れるまなざし・少しは私に愛を下さい・愛しき日々・愛燦燦・……』。ヒット曲を中心に約二十曲を唄ってくれました。デビューから五十数年、来年は八十歳。曲の間にその時々的人生が語られます。お客さんたちもそれぞれの思い出を重ねゆったりとしたひと時を楽しんでいるようでした。私は佳さんと同年齢。「これが最後」の気持ちで懐かしい人の声に耳を傾けていました。

発行 社会福祉法人 悠朋会

千代田デイサービスセンター 2・4・1

042・751・0672

ヘルパーステーション千代田

042・704・0261

千代田介護支援センター

042・704・0281

児童クラブ いちばん星

080・5865・1586

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

敬老会

今年も9月18日(月)が「敬老の日」でした。
例年の敬老会を千代田デイサービスでは9月17日(日)に行いました。

今年も厨房のスタッフさんが腕によりを掛けて豪華な「祝い膳」
を振る舞って下さいました♪

写真左下の黒米は敬老会以降の一週間のお食事の
中でも提供され、皆さま楽しむことが出来ました♪



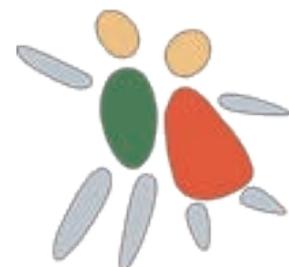
近年の千代田デイサービスは50代の若年層の方の利用も増
えています。100歳を超える方も珍しくなくなってきました。
100歳間近の方も大勢いらっしゃいます☆

以前に比べて男性比率も高くなっておりますので、まさに
老若男女の幅広い層の方々が利用されるデイサービスになっ
ております。

お食事を中心とした**栄養面**や理学療法士、柔道整復師による
リハビリなどの**運動機能面**、歯科衛生士、看護師による**口腔機
能面**など、引き続き、健康や生活全般に関わる面で、支援さ
せていただきます☆



- 運動会 9日(月)、10日(火)
- 書道 12日(木)、17日(火)、23日(月)
- 体重測定 9日(月)～15日(日)
- 誕生会 25日(水)～31日(火)
- 外出リハビリ 予定



～ケアマネのふるさと自慢（後編）～



天願千夏

私は横浜市で生まれ育ちました。と言ってもお洒落でも都会でもない円海山（横浜市にも山が沢山有るんです）の麓、緑豊かな地域です。当時は横浜市では一番高い山と自慢していましたが、測量が進んだ結果お隣の大丸山に負けてしまいました。ショックです。円海山から鎌倉までのハイキングコースがお勧めです。



円海山からの景色



伊藤秀男

幼少の頃からねぶた囃子を聞いて育った僕は、今でも囃子を聞くと心が躍ります。本州最北端の青森県。年に一度の夏の夜空を飾る青森ねぶた祭（8月2日～7日）は、海外や全国から300万人を超える観光客が訪れます。大型ねぶたはじめ、ねぶた囃子、ハネトの乱舞は迫力満点、是非一度は足を運んでみて下さい。



菊地歳光

私の郷里、いわき（福島県）では旧暦のお盆の時に新盆のお家をまわり。太鼓と鐘のリズムにあわせて念仏を唱えながら踊る伝統芸能「じゃんがら」があります。その踊りはとても激しく青森ねぶた祭の「ハネト」を思わせるものがあります。今の時期になるとその踊るさまが思い出されます。そして小倉あんをたっぷり使った銘菓「じゃんがら」もお勧めです。



星が丘地区ふれあい フェスティバルのお知らせ

今年もふれあいフェスティバルが開催されます。悠朋会として、うどん屋を出店します。

皆様のご来場をお待ちしています。

日時：令和5年10月22日（日）
10時～15時
場所：星が丘小学校グラウンド
中央区星が丘3-1-6

職員募集のお知らせ

社会福祉法人悠朋会では、新規拠点：千代田7丁目センター開設に向け、一緒に働いて頂ける職員を募集します。

募集職種：デイサービス介護職
デイサービス看護職
ホームヘルパー
ケアマネジャー

募集人数：若干名（年齢・性別・経験不問）

ご応募、採用についての質問、条件等は、
ヘルパーステーション千代田
電話 042-704-0261



～ いちばん星☆便り ～

暑い暑いと叫び続ける真夏のような秋。気候変動が起きているのでしょうか。激しい雨による災害も増え、日本の気候が確かに変化しています。

児童クラブいちばん星は設立から今年で8年目。心配事であったコロナは第五類となり、心配を残しながら夏休みを迎えました。

今年もクラブの中は子供たちの元気な声が飛び交い熱気でいっぱい。7月には恒例のマジックショー、8月にはクラブ夏祭りをメイプルホールで開催。広いホールで伸び伸びと活動した子供たち。準備から心弾ませ、当日も奮闘し、ご来場いただいた皆様のご協力もあり大成功を収めました。悠朋会からお客様が来てくださったこと、とても感謝しております。



♪マジックショー♪



♪なつまつりらしく飾りつけ♪



♪みんなで記念撮影♪



♪ヘルパーステーションの方々と♪



♪ボトルキャップシューティング♪

子供たちの創意工夫を引き出してくれる先生方の数々のアドバイスやサポートも素晴らしかったです。いちばん星を支えている支援員にも拍手をいただけたら嬉しいです。

私たち支援員は児童一人ひとりの個性を活かしながら日々の成長を見守っています。これからも「児童クラブいちばん星」をよろしく願い致します。

児童クラブいちばん星 加藤和代